

P-LAN08 (8 回路無電圧接点出力ユニット)用の接続設定用アプリ (TCP1_Ja.exe) の主な機能と使用方法は以下の通りです。

1. 接続設定用アプリ (TCP1_Ja.exe) のインストール方法

- (1) 接続設定用アプリ (TCP1_Ja.exe) を下記の例のような適当なフォルダに保管する。
例: "C:\Program Files (x86)\TCP1connect\TCP1_ja_vXX_(RevXX).exe"
- (2) 上記、exeファイル保管用フォルダの書込みは可能に設定しておく。
フォルダのアクセス許可で、ALL_APPLICATION_PACKAGES の変更許可のレ点を入れる。
アプリ (TCP1_Ja.exe) 実行ファイル配置フォルダに、QRコード画像「mac_qr.png」のファイルが出力されるため、アプリからの書込みを可能にしておく。
- (3) exeファイルのリンクを作成し、デスクトップ等に貼り付け、実行時には、リンクをダブルクリックして、実行する。
- (4) 自PCとP-LAN08を1対1 (ピアツーピア) でLAN接続する。

2. 接続設定用アプリ (TCP1_Ja.exe) 概要

接続設定用アプリ (TCP1_Ja.exe) からIP等の設定と確認、接点の操作等が行えます。
一般的な端末ソフト同様に、コマンド入力エリアから、メッセージ送信ボタンにより、各コマンドを送って、IP等の設定と確認、接点の操作が可能です。
備考: P-LAN08は、Webサーバによる接続設定の操作には対応していません。

2.1 操作方法

- ・接続操作開始時は、IP番号 (初期値: 192.168.0.90)、ポート番号 (固定値: 56346) を指定して、[サーバに接続] ボタンを押す。
- ・終了時は、[サーバを切断する] ボタンを押下して切断した後、右上の[x] ボタンでアプリを終了する。
- ・コマンド入力エリアにコマンドを入力。[メッセージを送信] ボタンで送信する。
- ・又は、必要に応じて、画面の各操作ボタンを押す。
各コマンドの詳細は 3章 コマンドリファレンス を参照して下さい。

2.2 ネットワーク情報の初期値

IPアドレス	192.168.0.90
ネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1
標準制御ソケットのポート番号	56346 【固定】

3. コマンドリファレンス

3.1 コマンドの構成

[コマンド] [CR] [LF]
[コマンド] [ターゲット] [CR] [LF]
[コマンド] [ターゲット] [引数] [CR] [LF]

P-LAN08へコマンドを送信する際のデリミタ (改行コード) として、P-LAN08は [CR]/[LF] 又は [LF] 又は [CR] を受け付けます。
P-LAN08から送る改行コードは [LF] を送信します。

※: [CR] (0x0D) は ASCII の制御文字の Carriage Return です。
[LF] (0x0A) は Line Feed です。

コマンド、ターゲット、引数、の間は半角スペース 1 文字のみ。2 文字以上は、受付ません。大文字と小文字を区別し、小文字のコマンドのみ受付ます。
また、コマンドの省略形はありません。

接続設定用アプリ (TCP1_Ja.exe) のコマンド入力エリアには、複数のコマンドをいっぺんに入力せず、ひとつのコマンドを入力し、[メッセージを送信] ボタンを押す。

※: 一般的な端末ソフトよりコマンドを送信する際には、コマンドから改行までの間に不要なスペースを入れずに改行する。

コマンド が受け入れられた場合、P-LAN08は [ok] あるいはコマンドに応じた文字列を返します。不正なコマンドの場合は、下表に示すエラー応答が返ります。

エラー応答	意味
Command Not Found	存在しないコマンドです。
Illegal Argument	不正な引数です。

3.2 get コマンド

get pcode 製品名コード[AGIANT LE0]を文字列で返す。
get ip IPv4アドレスを取得する。
get subnetmask サブネットマスク情報を取得する。
get gateway デフォルトゲートウェイ情報を取得する。

get emack MACアドレス取得する。
get arp ボタン ネットワーク情報を表示する。
 (TCP1アプリのボタンでのみ使用可)
 端末コマンドでは使用不可。

get relay1 リレー1の状態を取得します。
 ※：リレー番号は1～8
 各リレー が閉(接続)のとき「close」、
 開(切断)のとき「open」を返します。

get c 全リレーの状態を16進数で取得する。
 Get Connection コマンド。
 (応答:16進数) 例：0xA9
 16進数の上位：relay8 ～ 下位：rilay1。
 [1]:close, [0]:open

get info ネットワーク情報を表示する。

※：get info コマンド (TCP1_Ja.exe による実行例)

```
+-----+-----+-----+-----+-----+
Client send: get info
Server send: Product Code:AGIANT LE0
Firmware Version :1.02
Ethernet Hardware Address:80:34:28:47:39:8D
Internet Protocol Address:192.168.0.90
Net Mask:255.255.255.0
Gateway Address:192.168.0.1
TCP Port Number:56346
Maximum Segment Size:256
Retransmission Time Out:200ms
Retransmission Retry Count:8
Keep Alive Interval:20 sec
```

3.3 set コマンド

set relay1 open リレー1を開(切断)にする。
set relay1 close リレー1を閉(接続)にする。
 ※：リレー番号は1～8
 ※：引数は open/close のみ。
 0/1, on/off は未サポート。
 [Illegal Argument] となる。

set ip 192.168.0.90 IP情報設定 [例]
set subnetmask 255.255.255.0 マスク情報設定 [例]
set gateway 192.168.0.1 ゲートウェイ情報設定 [例]

set save setting IP等の設定保存
 (電源再接続前にsaveコマンドで設定を保存する)
 電源再接続、またはネットワーク切断と再接続後に有効。

set c 0xA9 全リレーの状態を16進数で設定する。 [例]
Set Conect Hex コマンド。
16進数の上位 : relay8 ~ 下位 : rilay1。 [1]:close, [0]:open
※ : 1 6 進数は大文字/小文字 可。例 : (0xff or 0xFF)
例 : set relay 0xFF 【全リレー接続】

4. 注意事項

接続設定用アプリ (TCP1_Ja.exe) 使用上の注意事項は、以下です。

- (1) イーサネットによるプロトコルはリアルタイム性を保証しません。
- (2) 本製品の標準制御ソケットは8つです。そのため、TCPコネクションが確立している間に、他のクライアントから本製品を8つまで制御できます。入力されたコマンドは先着順に処理されます。
但し、複数のTCPソケットを接続した状態で、別のTCPソケットから同じリレーを制御するコマンドを送信しないで下さい。
- (3) 無効なコネクションが残らないよう適切に設定して下さい。
コネクションが必要でなくなったら、FINパケットを相互に送りあってコネクションを閉じます。
- (4) P-LAN08 リレー制御を動作させるための個別のシステム開発は、お客様にて実施いただく必要があります。
P-LAN08ネットワーク設定手順書のスクリプト例 (未保証) 等を参考に、作成下さい。

5. 修正履歴

Rev10: (新規作成 : 2026/03/19) (株)バルテック 品質管理部

Rev11: (修正日 : 2026/03/23) 量産機版対応

Rev12: (修正日 : 2026/05/29) 量産機版対応、誤記修正